



佐賀 DARC 代表 松尾 周

毎日、暑い日が続いています「からっと晴れてくれれば海に行けるのに」と湿度の高さにばてばての仲間達とここ最近よく出てくる会話です。

暑さの中で、食欲も皆落ち気味で涼しくなる夕食をと、仲間達はあれこれ工夫をこらしてくれているようです、それでもいらいらにつながる事は多く特にビギナーの仲間、刑務所から来たばかりの仲間などには、ただDARCに居続けること、慣れない人間関係の中で暮らす事だけでも厳しいはずで。

私自身、暑さと苦手な書類仕事（法人化へむけての書類）などにおわれ一番いらいらしているのかもしれませんが（ああ早く解放されたい…）

逃げ出さず、「新しい生き方」と言いながらプログラムを実践している仲間達の姿を見せられ、嫌な書類になんとか向き合っている次第です。

そんななか私事ですが15日、カトリックのマリア様の被昇天の日に洗礼を受ける事となりました。

長い間、洗礼を受けるかどうか悩んできましたが、DARCに繋がって今までの多くの出会いや出来事が後押しをしてくれました。

献金のお願いにいった沖縄の教会で「あんなに自分が嫌いで死のうと繰り返していたのに今仲間の為に献金のお願いをしている自分が嫌いじゃなくなった」と話した時に「神様が許しをくださったのですね」とシスターが言ってくださった言葉や、亡くなった仲間が闘病中に信仰を強めようと洗礼を受けた姿、DARCを支えてくださっている多くの方の善意、その他にも多くのことが、人や自分さえ回復する事も信じれなかった私に、信仰を持ちたいと種をまいて育ててくれたようです。

薬物を使わない為に、新しい生き方を身につけるDARCのプログラムですが洗礼を受け新しい命をいただけるまで導いてくれました。

「いるだけで変われるから」と私の回復を信じてくれた仲間も、プログラムを信じ信仰を持っていたのでしょ。

苦しみから解放されたいと入寮中の仲間も一人同じ日に洗礼を受けます。

「長男だけ改宗して洗礼を受けるから」と伝えた時に心から喜んでくれた母や、これまで関わってくれた方々に心から感謝しています。



Drug Addiction Rehabilitation Center

こんにちは、薬物依存症のTERUです。

私は中2の頃いつも先輩と遊んでいて、ある日シンナーを進められて使いはじめました、最初は興味範囲からでしたが、シンナーをしている時はとても気持ち良く幻覚などみていました。

シンナーをしているうちにどんどんシンナーに依存していきましたが、周りの影響でシンナーから大麻やMDMAやLSDやキノコなどを乱用していました。

その次は友達が覚せい剤を使っているうちに自分も誘われて、興味津々で覚せい剤を使い始めました。そうして使い続けているうちに止まらなくなっていく、覚せい剤が無いとイライラしたり、躁鬱になったりして親に精神病院へ入院させられてしまうまで薬を使い続けていました。

病院を退院しても直ぐに覚せい剤を使い始めていました。

薬を買う為に窃盗換金を繰り返しながら生活を続け警察に逮捕され、服役し刑務所を出所した時は親父の紹介で仕事に就いていましたが、仕事と人間関係がつまらなくなりはじめ、出所して九ヶ月経った頃にまた覚せい剤に手を出しました。

一度手を出すと止まらなくなっていて、覚せい剤を買う為に窃盗換金を懲りずに繰り返していて、福岡で窃盗をしていた所を現行犯で警察に逮捕され二度目の刑務所行きとなりました。

もう二度と同じ過ちを繰り返さないために、刑務所でカウンセリングを受けたりもしました。

今まで薬物を使用し続けたことで薬物の後遺症が残り「このまま社会に出ても、また同じ事を繰り返す」と言われ、そこでDARCの事を教わりDARCに繋がる事ができました。

先月、九州DARCの仲間みんなとフットサルをさせてもらい、とても楽しくて充実してたのですが、まだ出所したばかりで刑務所では、独居でずっと一人だったのもあって、みんなと遊ぶことがとても嬉しくて、調子に乗り過ぎてしまい熱中症で倒れてしまい救急車で病院に運ばれて皆さんに大変ご迷惑ご心配を掛けてしまいました。

次の日はキャンプだったので、行けなくなってしまいうんじゅないかと不安になり早く治したい気持ちでいっぱいになっていました。

だけど無事に仲間達とキャンプに行かせてもらうことができました。

初めは素面での生き方を楽しめていませんでしたが、薬を使わなくても十分楽しめています、だけどレクリエーション以外ではまだ楽しめないことが多いです。

新しい環境で、今までの生き方を変える事はとても難しい事です、これからは依存症から回復していく為に新しい仲間達と助けあっていき、心を開いて頑張っていく、私の欠点を見直し謙虚な気持ちで、やっていきます。

私はまだ入所したばかりなので先行く仲間達と共に歩んでいきます。

それではこの辺で失礼致します。有り難うございました。



薬物依存症

M

5月6月7月と～♪月1で海へキャンプに行かせてもらい、主にうちのB O S Sと私が魚や海の幸を採ってみんなでたらふく食べながら優越感や満足感を得ていた私はアディクトのMです。

言い訳じみた言い方ですが薬物を使って満足感等を得ていた頃と比べてみれば健康的な〇〇感ですよ（笑）スタッフ研修に入ったのにまだそんなチャラけたこと言ってるの！と思いにられる方もいられるのかもしれない

ませんが御了承ください。

そんな感じで佐賀D A R Cに入所させてもらってから色々な所へ連れて行かせてもらっています。薬物なしで遊ぶこと・楽しむことを教わっています、最初の頃は正直嫌でした。「めんどくさい！こんなことして何が楽しんだらう！絶対無理！」みたいな不平不満ばかりでやりもしないのに「こんなことやっても意味がない」と決めつけ逃げようとしていました。

そんな頃、嫌なことに対しては感情が働くのに、他の事に関しては無関心で感情の波が無く、仲間のなかで周りの仲間が笑っていても「何が面白いんだらう？」と作り笑いさえすることもできませんでした。

そんな感情のない自分が不安になる時もありました。プログラムを受けさせてもらっていくなかで感情が戻ってきたと思ったのは怒りがでた時でした、怒りの感情がでて喜ぶ人なんかいないと思いますが、久しぶりに怒りがでた時には正直嬉しくて「自分にもまだ感情があったんだ！」と想いました。

最近キャンプによく行くのですが、佐賀D A R C主催でストリートオペラにも参加させてもらいとかちD A R Cの代表がミュージシャンA K I R A S a nの歌や演奏の間とかちの代表が幼い頃から薬物でどうしようもなかった頃・・・そして今に至るまでのストーリーを語っていき、吸いこまれていくような感じで聴き入っていました。オペラも終わりにさしかかる頃とかちD A R Cの代表は佐賀が生まれ故郷ということもあって、その場をかりてサプライズを起こしたのです！観客大勢のなかで彼女にプロポーズをしたのです。

その姿も僕にとって1つの希望になりました。

オペラが終わりA K I R A S a nのCDを大人買いをしました、いや（汗）うちの代表が大人買いしたやつをコピーさせてもらいました。

オペラでの事を思い出しながらA K I R A S a nの色々な曲を聴かせてもらっています。表現がおもしろくて心が癒されるというか共感できるというような詩で少し好きになりました。

どこかへ遊びにいかせてもらうなかで1つ1ついろんなことを教えられます。まわりからみれば「遊んでばかりでいいよな」と思う方もおられるかもしれませんが、そのなかにはちゃんと薬物を辞め続けていく為のことがいっぱい詰まっているし、今では自分もそう思えます。

PS：少し話を盛っているかもしれませんが御了承ください。

ありがとうございました。



Drug Addiction Rehabilitation Center

「H(歡知)」

きみは本当にがんばってきたね
誰も気づかないところで
子供のようにひたむきな瞳を
ぼくは見てる
きみのやさしさが人を傷つけ
きみがさらに傷ついても
笑顔にかくして流した涙を
ぼくは見てる
変えられるものを変えゆく勇氣
変えられぬものを認める謙虚さ
それがどちらか見分ける歡知を授け
たまえ



きみはいつだって誰かの為に
いっしょうけんめい思いやる
消えそうな言葉 不器用な汗を
ぼくは見てる
理由なき嫉妬 声高な批判
きみは背中で受け止めて
傷ついた者をそっとかばう手を
ぼくは見てる 争いに和解を 罪惡に赦しを
迷いには真理を 憎しみには愛を
闇には光を 授けたまえ

姿や言葉にとらわれないで
その人を見つめてごらん
体を透かして輝く光を
ぼくは見てる
きみを憎む人 蔑む人さえ
大切な鏡だから
自らの敵を抱きしめるきみを
ぼくは見てる



佐賀新聞

薬物依存症患者のリハビリ支援施設「佐賀ダルク」(松尾周代表)が25日、佐賀市の浪漫座(旧古賀銀行)で、音楽と語りを合わせた舞台「アール セルフ・ストーリー・オペラIN SAGA『負けてもよかばい!』」を上演した。佐賀市出身で「とちかちダルク」(北海道帯広市)代表の宿輪龍英さん(50)が出演。依存に苦しみながらやり直した過去を語り、「人生は失敗したら終わりではない」と訴えた。

作家やミュージシャンとして幅広く活動するAKIRAさん(54)が、自作の歌をギターやピアノで弾き語りし、曲の合間に宿輪さんが自身の過去を語る形式で進行した。

宿輪さんの語りは、幼少期の家族環境に始まり、シンナーや覚せい剤にはまってしまう過程、その後の受刑生活や精神科への入院経験にも及んだ。時折AKIRAさんとの掛け合いを交えながら、当時の会話や心情を再現。自分を信じてくれた人たちを裏切ってしまったと、膝をついて深く頭を下げる場面もあった。

宿輪さん
度でもやり
からは「多
た」という
宿輪さん
とまで話し
わなかつ

は最後に「人生は失敗したら終わりではない。何直せる」と力強く訴えた。集まった約60人の観客のこを教えられた。希望が持てた」「来て良かった」感想があがった。

は上演後、「地元なのですごく緊張した。こんなこ
ていいのか葛藤もあったが、『うまくやろう』とは思
た」と話していた。

皆さん、こんにちは、薬物依存症の、ノビ太です。
 今回のニュースレターは、希望と勇気を感じたこと、再認識したことを書かせていただきたいと思います。

薬物依存症 のびた

7月25日にオペラを見に連れて行ってもらいました。北海道とかちDARCの代表と歌手のAKIRAさんのオペラです。とかちの代表が過去の話をしてAKIRAさんが歌ってくれました。特に印象に残ったのは、とかちの代表が土下座をして過去に傷つけた人たちに、あやまったこと、僕はこの時、「とかちの代表はすごい人だな、勇気のある人だな」と思いました。大勢の人の前で土下座なんて、今の僕にはまだ、できません。過去の恥ずかしい体験も今の僕にはまだ、話せません。

そして、このオペラで一番感動したのは、十勝の代表が最後に大勢の人の前でプロポーズをして見事に結ばれたこと。

僕も回復を続けられれば、いつか素敵な女性を見つけ幸せになれるかもと希望を持ってました。このオペラで僕は希望と勇気をみせていただきました。



僕の将来の夢はヘルパーの資格を取り、介護の仕事に就くことです。

できれば、障害をもつ子供達をサポートしていきたいと思っています。

僕は社会人経験がありません、こんな僕だけこの夢は叶えたいと思っています。

なぜ、介護の仕事に就きたいのかと言うと僕は沖縄の精神科に10か月入院をしていました、病棟は閉鎖病棟でいろんな障害をもつ人を見てきたし、接してきました。

最初はビクビクあることばかりでしたが、いろいろと接していくうちに障害をもつ人たちは何も悪くない、精一杯生きていると感じるようになり僕も障害を抱えている人たちをサポートしたいと思い始めたのがきっかけです。

でも、仕事をしたことのない僕には無理かもしれない、資格を取る頭もない、夢はしょせん夢と諦めかけていましたが8月5日に病院のお祭りに行き、僕たち佐賀DARCはワタアメを販売させていただきました。

お客様のほとんどが障害をもった人で、接客をしているうちに、やっぱり僕はヘルパーの資格を取り介護の仕事に就きたいという思いが強くなりました。

仕事をしたことのない僕だけ自分の夢に向かい精一杯のことをやりたいと思いました、この日僕は自分の夢を再認識させてもらいました。

でも今は自分の夢よりも佐賀DARCでプログラムを真剣に取り組むことが今僕のやるべきことだと思っています。

DARCのプログラムが社会にでるときに必ず役に立つことを信じて自分のペースで前向きに頑張りたいと思っています。



Drug Addiction Rehabilitation Center

薬物依存症
つよぼん

こんにちは依存症のつよぼんです。
最近、暑くて嫌になる日が続きますが、皆様は如何お過ごしですか？
そんな中2泊3日で波戸岬にキャンプに行かせてもらいました。

キャンプに来てみんなで、力を合わせてテントを組み立てたり荷物を整理したりしながら、暑い中みんな良く頑張っていることに關心させられます。

仲間が日ごろ施設では見せない位に元気な姿を見せてくれました。

みんな元気だと思いました、私は施設に来て早9ヵ月になります。

今は逃げ出したいと思うことも大分無くなりましたが、はじめの頃は、一日も早く施設から出たくて仕方ありませんでした。

一番嫌だった事は人間関係でした、ですからはじめは、仲間と居るのも嫌で仕方ありませんでした、でもそんな事を先行く仲間に相談すると、仲間と一緒に居る事を提案してもらいましたが、一緒に居るのが本当に嫌で仕方が無いのに何でそんな事を言うのか解りませんでした？

でも、そんな自分の気持ちを変えてくれたのも仲間でした。
だから今は仲間と居る事の大切さも解るようになって来ました、そんな事を仲間と話していると、自分も仲間も同じなんだなと思えます。

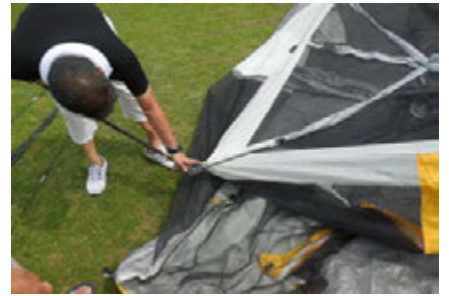
今までは、人の事よりもわが身が大事で他人に迷惑を掛けて居る事すら考えた事も無かったです。

反対に自分が他人に迷惑をかけられていると、思っていました。
そう思っていた自分が今は恥ずかしく思います。

自分を愛するように隣人を愛しなさいと聖書にもあります、これからは何時も自分の感情に目を向けて行きたいです。

今は神様の事も信じられるようになってきました。

ほんとうに、ありがたいと思います。





薬物依存症 こうじろう

こんにちは、薬物依存症のこうじろうです。
今自分は薬が止まって2か月ほどになります、この2ヶ月間で何度も欲求が入ったり、施設移動の話が出てきたりして、危なかった事が色々ありました。がなんとかやっていけています、とは言うものの8月のコンベンションが薬を使う友達が居る東京で開催されるというところで自分は危機感を感じている近頃です。

早く薬物に囚われ続ける苦しい生活から抜け出したいです。

最近では毎朝ランニングをするようにしています。施設でフットサルをやっているのですが、プレイ中思うように身体が動かなかったり、すぐにバテてしまったりということがあってこれはまずいと思い体力作りを始めました。

思い返せば14歳の頃にサッカーをやめて9年間全く何もしていなかったため、100m走っただけですぐに息があがるような状態だったのが今は徐々にその距離を延ばして走れるようになっていきます。

走っていると心も身体もスッキリしますし、いい汗がかけられるので始めてよかったなと思います。

これからもっともっと体力をつけてフットサルを楽しみたいと思うし、「やって良かった」、「楽しい」と思える事をさらに見つけていけば自分の施設生活もよりよくなるんじゃないかなと思います。

